

令和2年度 銚子市立第七中学校 グランドデザイン



学校教育目標

国・県・市の基本方針 【生きる力の育成】

- ◇ 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む
- ◇ 「キャリア教育」「地域とともに歩む学校づくり」を進める
- ◇ ふるさと銚子を知り、郷土に誇りを持って成長できる教育の実践

夢の実現に向けて知徳体の調和を図り、生きる力を身に付けた生徒の育成

- ◇ 生徒の実態
- ◇ 生徒の思いや願い
- ◇ 保護者、地域の願い

校訓 精励恪勤

目指す学校像

- 安全管理が行き届き、清潔で美しい学校
- 思いやりの心と学ぶ意欲の育成を図る学校
- 生徒が明るく生き生きと活動できる学校
- 生徒の将来に夢と希望を与える学校
- 保護者や地域に信頼される開かれた学校

目指す生徒像

- 自ら学び、考え、表現できる生徒
- 心豊かな生徒
- たくましい生徒
- 自らの生き方を考える生徒

求める教師像

- 人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教師
- 高い倫理観をもち、心身ともに健康で明朗快活な教師
- 専門性に富み、常に創意工夫を心がける教師
- 教育に対する情熱があり、生徒とともに歩む教師
- 常に指導力向上に努め、信頼される教師
- 組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教師
- 社会人、職業人、教育公務員としての自覚のある教師

学校経営基本方針

- (1) 「すべては生徒一人一人のために」ということを根拠に据え、学習指導要領、千葉県及び銚子市の学校教育指導の指針に即し、地域・生徒の実態を踏まえた教育課程を編成し、特色ある教育活動の実践に努め、学校教育目標の具現化を図る。
- (2) 人事評価制度の効果的な運用により、教職員個々の力量を高めるとともに、組織的、計画的に学校教育目標の具現化を図る。
- (3) 小規模校の利点を生かし、きめ細かな指導を通して、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出す教育及び生徒一人一人をかけがえのない存在として大切に教育の実践に努める。
- (4) 学校評価の適切な実施と、結果を学校経営の改善の視点として反映させ、教育活動の質的充実と信頼される学校づくりに努める。
- (5) 学校評議員制度の円滑な運営により、地域の特性や学校の実情を生かした教育の実践に努めるとともに、保護者、地域の要望を踏まえた教育を推進する。
- (6) 総労働時間の縮減により、心身にわたる健康の増進や自己啓発のための創造的自由時間の拡充、公務能率の向上を図る。

具体的方策

- 【知】学習指導の充実（学力の向上）
- ① 指導目標の明確化、指導内容の精選、重点化そして指導方法の工夫改善。
 - ② 全国学力・学習状況調査の結果をもとに研修を実施し、教職員の資質向上を図り、小規模校の利点を生かした生徒への個別指導の実践。
 - ③ 体験的な学びや問題解決的な学習を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現。
 - ④ 効果的な家庭学習の指導継続、学習習慣の確立。
 - ⑤ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指した学力向上タイムの設定とその充実。
 - ⑥ 「七中寺子屋プロジェクト」の継続。
 - ⑦ 朝読書の充実と新聞を活用した取組による読書の習慣化。
- 【徳】道徳教育の充実
- ① 道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の充実。
 - ② 道徳の時間の充実（映像教材の活用）と、相互授業参観等を通して、「考え、議論する道徳」を意識した指導方法の工夫・改善。
 - ③ 豊かな体験活動を通して社会性を育成するとともに、互いに認め合い、支え合える人間関係づくりの推進。
 - ④ 情報モラルを身に付けさせるための指導の充実と家庭との連携強化。
 - ⑤ 道徳の時間の授業公開等の積極的な実施、家庭・地域と連携した道徳教育の推進。
- 【体】体育・健康・安全教育の充実
- ① 発達の段階に応じた保健体育の授業、学校行事、部活動の充実。
 - ② 心身の発達の段階に応じた健康教育を推進し、自らの健康を適切に管理できる能力の育成。
 - ③ 自ら危険を予測・回避し、的確に行動できる能力の育成。
 - ④ 家庭や関係機関と連携し、生涯にわたり望ましい食生活を送ろうとする態度の育成。
 - ⑤ 健康三原則（運動・栄養・睡眠）を踏まえ、「早寝早起き朝ご飯」の徹底について家庭との連携強化。
- 【その他】
- ① 地域との連携（地域人材の積極的活用）により、多様な体験活動の充実を図り、生徒の社会性や豊かな人間性を育成。
 - ② キャリアパスポートの効果的活用。
 - ③ 学校いじめ防止基本方針に基づく、いじめ防止対策の実践強化。
 - ④ 生徒一人一人の教育的ニーズを把握した合理的な配慮の提供と必要な支援。
 - ⑤ OJTの手法を生かした若手教職員の指導。
 - ⑥ 学校支援組織（七中サポーターズ）との連携強化。閉校支援委員会の設立。
 - ⑦ 業務の改善と勤務時間の適正化。

